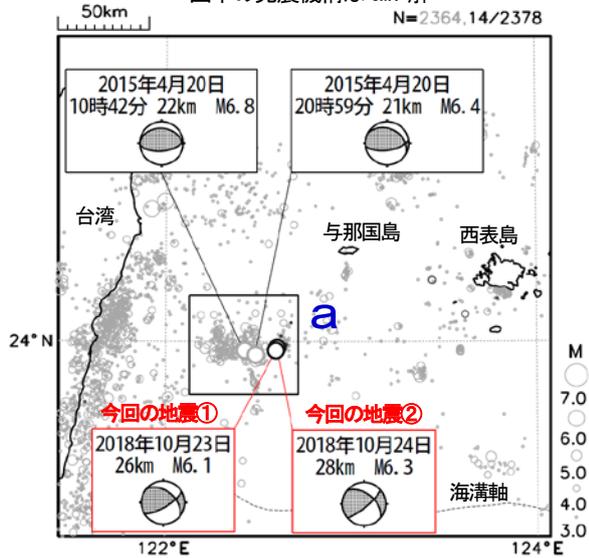
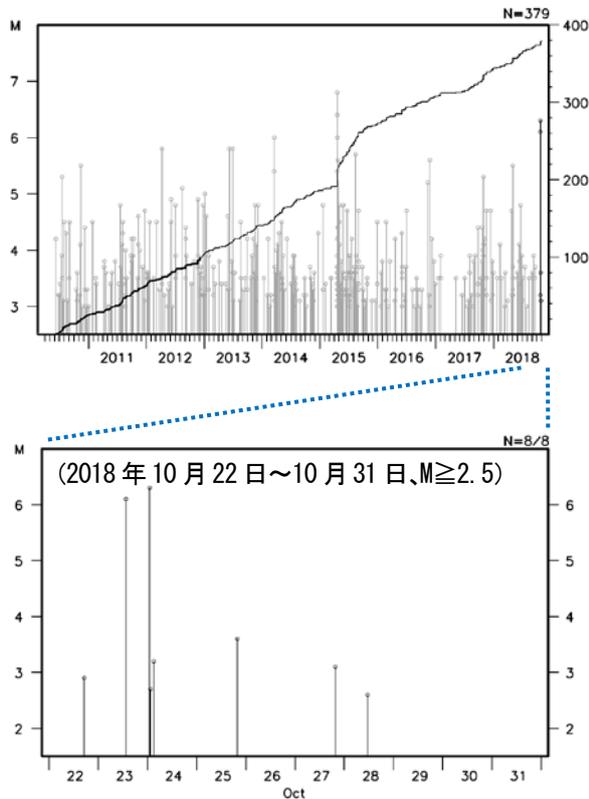


10月23日、24日 与那国島近海の地震

震央分布図
(2010年4月1日~2018年10月31日、
深さ0km~50km、 $M \geq 3.0$)
2018年10月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図及び回数積算図

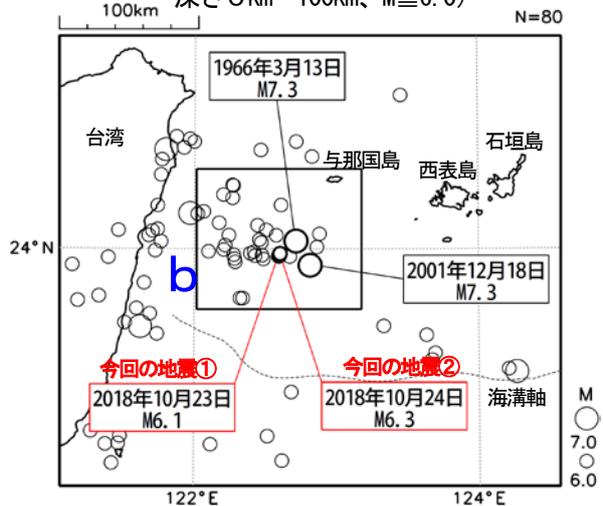


2018年10月23日13時34分に与那国島近海の深さ26kmでM6.1の地震(最大震度3、今回の地震①)が発生した。この地震の震央付近では、24日01時04分にM6.3の地震(最大震度3、今回の地震②)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、地震①は南北方向に圧力軸を持つ型、地震②は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。地震①②の発生後、地震活動は減衰している。

2010年4月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.5以上の地震が時々発生しており、2015年4月20日10時42分にM6.8の地震(最大震度4)が発生し、同日20時59分にM6.4の地震(最大震度2)が発生している。

1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が2回発生している。1966年3月13日に発生したM7.3の地震(最大震度5)では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟などの被害が生じた(被害については「日本被害地震総覧」による)。2001年12月18日に発生したM7.3の地震(最大震度4)では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測している。

震央分布図
(1960年1月1日~2018年10月31日
深さ0km~100km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図

